

体育館の平面計画

新総合体育館の平面計画について、諸室・規模の設定を踏まえ、一定の基準で理想的な規模を確保することを前提とした A 案と事例視察を踏まえ、必要性の低い部屋を整理し、現実論に近い規模とした B 案について、整理します。

平面計画上の配慮事項

- ・メインアリーナとサブアリーナの移動を円滑にするため出入り口を近接させる。
- ・観覧席の下部を有効活用して器具庫を設ける。
- ・興行時の一般客の入退場は、2 階からを基本とする。
- ・メインアリーナに物品を直接搬入可能な搬入室を設ける。
- ・トレーニングルームは 2 階の配置とする。

A 案：第 7 回（前々回）委員会資料にて提示した「アリーナ標準（一社）アリーナスポーツ協議会」による諸室の規模をベースに、いわゆるプロスポーツなど「観る」スポーツに重きを置いた整備内容として、整理した案。

B 案：視察事例も踏まえ、市民利用を主体とすることで、大会・プロの興行時にも問題がないレベルを想定し、必要性の低い部屋は減らしつつ、興行時等には 1 階を関係者専用として動線を配慮し、会議室をプロチームの更衣室として兼用可能とするなど、全体がコンパクトになるよう配慮した案。

各室面積表

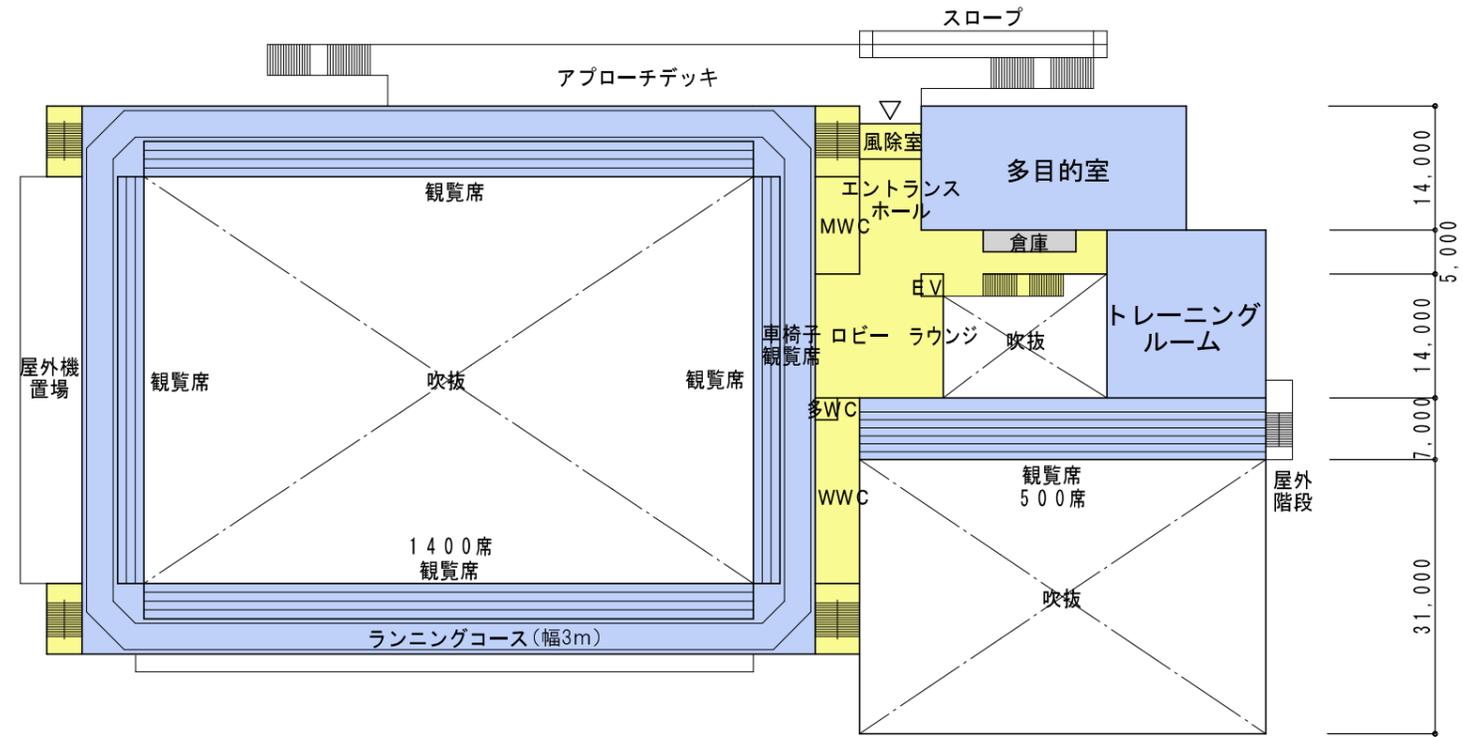
(単位：㎡)

分類	施設	A案	B案	必要性	備考
		想定床面積	想定床面積		
スポーツ系	メインアリーナ	3,174.0	3,174.0	◎	
	同上固定観覧席	828.0	828.0	◎	
	サブアリーナ	1,426.0	1,426.0	◎	
	同上固定観覧席	322.0	322.0	◎	
	武道場	532.0	504.0	◎	
	トレーニングルーム	342.0	280.0	◎	
	ランニングコース	1,144.0	1,144.0	○	幅3m (幅1.5m×2レーン)
	多目的室	420.0	392.0	◎	
	キッズルーム	117.3	196.0	○	
	小計	8,305.3	8,266.0		
ツボ非 系 ス	会議室・研修室	234.6	234.0	○	4室
	小計	234.6	234.0		
管理部	器具庫 (メインアリーナ)	600.3	903.0	◎	B626+277
	器具庫 (サブアリーナ)	112.0	112.0	◎	
	倉庫	57.8	168.9	○	A31.5+26.3、B74.3+33.8+60.8
	事務室	171.0	154.0	◎	
	管理室	18.0	18.0	○	
	放送室	36.0	33.8	○	
	機械室	239.0	231.0	◎	A 176+63、B168+63
	電気室	62.5	63.0	◎	
	非常用発電機室	24.5	24.0	○	
	防災備蓄倉庫	79.2	79.2	◎	
	スタッフルーム	113.0		△	4室
	医務室	33.8	33.8	○	
	小計	1,547.1	1,820.7		
共用部	トイレ	295.0	295.0	◎	A.B80+105+55×2
	選手用更衣室	255.4		△	127.7×2
	同上トイレ・シャワー室	96.6		△	48.3×2
	審判用更衣室	74.3		△	
	一般更衣室	98.0	84.0	◎	シャワー含む
	給湯室	11.3	9.0	○	
	搬入室	32.0	32.0	○	
	売店等	40.5		△	
	ホール・ロビー等	1,074.7	1,139.5	○	A786.9+287.8,B694.5+445
	廊下・階段・E V等	1,116.2	789.3	○	
	小計	3,094.0	2,348.8		
合計	13,181.0	12,669.5			

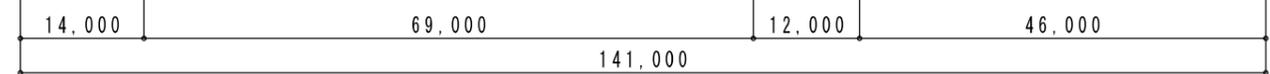
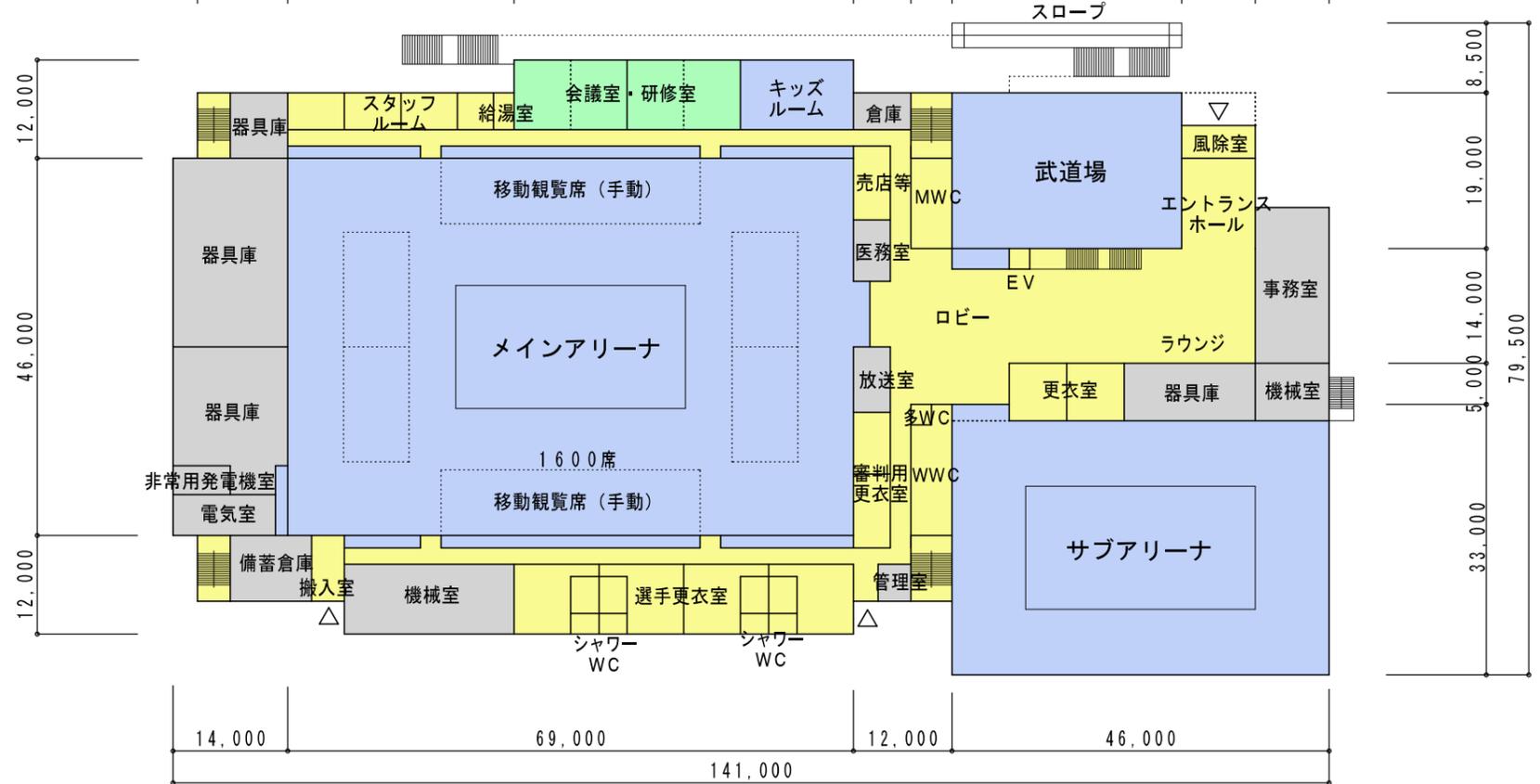
◎：必ず必要となる部屋、○：整備方針に応じて必要となる部屋、△：あると良い部屋

A案 平面図

2F



1F



- 分類用途
- スポーツ系
 - 非スポーツ系
 - 管理部
 - 共用部

床面積 (㎡)	
2階	3,821.0
1階	9,360.0
合計	13,181.0

※アリーナ周囲に移動観覧席の収納スペースを確保。特に長辺方向中央部の移動観覧席については、作り付けで壁からせり出す方式を想定。

